

「道徳の時間」学習指導案

- 1 学年 第5学年3組 30名
- 2 主題名 あきらめない強さ 内容項目 A－希望と勇気、努力と強い意志
- 3 教材名 日本一の琴づくり ～こだわりの伝統工芸士 藤田房彦～

(出典：広島県道徳教育指導資料)

4 主題設定の理由

- 自分の目標をもって最後まで諦めずに努力し、やり切ることは、自分自身を成長させる上で重要なことである。さらに、より高い目標を立て、その実現を目指して努力をする中で、「自分は必ずできる」という希望や自信が生まれ、夢に向かって積極的に挑戦することで、自己のより大きな向上につながる。

この時期の児童は、日々の授業や、友達や上級生との関わりなどを通して、自分の目標をもつようになる。しかし、その過程で自分に自信がもてなかったり、思うように出来なかったりして、「どうせ自分は」「もうやめたい」といった弱い心に負けそうになることもある。そこで、自分の設定した目標に向かって努力し、くじけず希望を持ち続けることの大切さや、努力するが故に直面する困難があり、それを乗り越えることで強くなっていく自分に気付き、高い目標を目指して自分自身を高めていこうとする前向きな気持ちをもつことができるようにしたいと考え、本主題を設定した。

- 本学級の児童の実態を把握するため、事前の意識調査を行った。

質問内容	肯定的回答	否定的回答
①自分の目標をもっていますか。	90% (27/30)	10% (3/30)
②目標の達成に向けて頑張っていることがありますか。	87% (26/30)	13% (4/30)
③普段から、難しいことがあっても諦めずに取り組みようとしていますか。	97% (27/30)	3% (1/30)
④諦めずに努力してよかったと思うことがありますか。	90% (27/30)	10% (3/30)

アンケートから、本学級の児童の実態を次のように分析した。

- ・児童の多くが将来の夢や、勉強面、運動面などで自分の目標をもち、勉強を頑張ったり、習い事の練習に力を入れたりするなどして、目標の達成に向けて日々努力していることが分かる。
- ・難しいことがあっても諦めずに取り組む理由としては、「達成感を感じられるから」「将来のためになるから」「やめてしまったら、今までの努力が無駄になるから」などであった。否定的回答の理由は、「苦手なことは最初からしたくない」という内容であった。ほとんどの児童が、諦めずに努力し続けることの意義を理解しているようであるが、教員の日常生活での観察においては、苦手なことから逃げてしまうという児童もいる。
- ・運動会での組体操など、諦めずに努力してよかったと思う経験をしている児童が多か

ったものの、否定的回答で、努力してよかったと思う経験をしていないという児童もいた。このことから、目標をもって困難なことも諦めずに努力することがよいと分かってはいても、実際にそのよさを感じられていないことが伺える。

- 指導にあたって、導入では、自分たちの掲げる目標について振り返った後に、藤田さんの出演するCMを見たり、琴づくりの工程について知ったりすることで、道徳的価値や教材への方向付けをする。

基本発問では、担任の先生の勧めで琴工場に就職したものの、思うような仕事ができない藤田さんの辛い気持ちをとらえさせる。どんな仕事でも一生懸命取り組み、希望をもって仕事を続ける藤田さんの気持ちも考えさせる。

中心発問においては、日本で初めての伝統工芸士に任命されたという知らせを聞いて、胸に熱いものがこみあげてきた藤田さんが考えていたことから、困難があっても、あきらめずに取り組むことが夢の実現につながることに気付かせる。また、苦しいことや大変なことも乗り越えて頑張るための気持ちについて焦点化して考えることで、目標に向かって努力し、くじけず希望を持ち続けることの大切さや、努力するが故に直面する困難があること、そして、困難を乗り越える人の心の強さについての考えを深める。

終末では、藤田さんからのメッセージを見たり、自分自身を振り返ったりして、これから自分も高い目標をもち、諦めず努力しようとする気持ちをもたせて終わらせたい。

5 他教科等との関連

福山 100NEN 教育における本校の【21世紀型“スキル&倫理観”】においては、高学年の目標である「自ら目標を立て、失敗しそうになっても、なんとか目標を達成しようと努力する子」（粘り強さ・やり抜く力）及び「異なる複数の意見をもとに考え合い、よりよい意見へと発展させる子」（コミュニケーション能力）に関連している。

また、今学期は音楽発表会やマラソン大会などの行事がある。現在は音楽発表会に向けて各楽器や歌の練習をしている。うまく音が出なかったり、楽譜通りに演奏できなかったり難しいこともあるが、くじけずに練習を続け、最後まで力を出し切ってやり切ることで、達成感や自信を感じさせながら、諦めずに続けることの良さを味わわせていきたい。さらに、12月のマラソン大会でも、自分の目標を明確にし、声かけなどを行いながら、目標に向けて粘り強く努力しようとする気持ちをもたせる指導をしていきたい。

6 ねらい

より高い目標をもち、「努力をすればできる」という希望や、困難も乗り越える勇気をもって努力をすることが、自己の自信や強さ、前向きな姿勢につながることを理解し、理想をもって、困難にもくじけず粘り強くやり遂げようとする心情を養う。

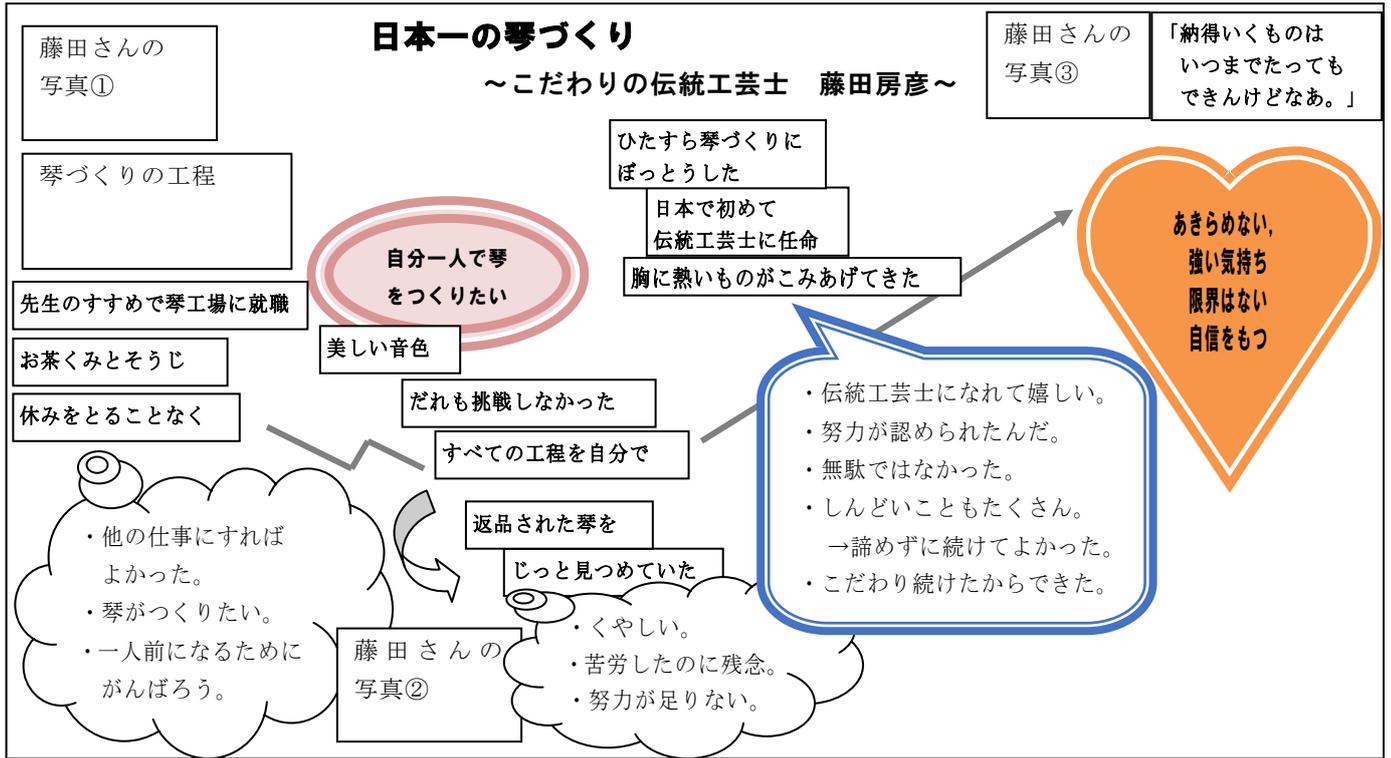
7 準備物 場面絵 短冊 ワークシート 座席表

8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)
導 入	1 自分たちの掲げた夢や目標を確認する。	○どんな目標や夢をもっていますか。 ・テストで100点をとること。 ・習いごとで合格すること。 ・助産師になること。 ・野球選手になること。	○夢や目標について思い出し、教材への方向付けをする。 ○藤田さんの出演するCMや、琴づくりの情報を説明し、考えを深める手立てにする。
	2 教材「日本一の琴づくり～こだわりの伝統工芸士 藤田房彦～」の前段を聞き、藤田さんの気持ちを考える。	○藤田さんは、どんな気持ちで琴工場で働いていたのでしょうか。 ・他の仕事にすればよかった。	○琴づくりをさせてもらえないしんどさや、もどかしい気持ちなどをおさえる。

<p>展開</p>	<p>3 教材後段を聞き、藤田さんの気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・琴が作りたいたいの、何でお茶くみと掃除をしなければいけないだろう。 ・早く琴作りがしたいな。 ・一人前になるためにどんな仕事もがんばろう。 <p>○返品された琴をじっと見つめながら、藤田さんはどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命つくったのに、返品されて悔しい。 ・苦勞してつくった琴なのに、残念。 ・まだまだ努力が足りないのかな。 ・どうすればお客さんの求める音が出るだろう。 ・何がいけなかったのだろう。 <p>○伝統工芸士に任命されたという知らせを聞いて、胸に熱いものがこみあげてきた藤田さんは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p><A：努力が認められたことの喜び></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で初めての伝統工芸士になれて嬉しい。これからはもっとがんばっていこう。 ・今まで努力してきたことが認められたんだ。 <p><B：諦めないことの大切さ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までしてきたことは無駄ではなかった。一人前になるためには必要なことだったのだ。 ・しんどいこともたくさんあったけど、諦めずに続けてよかった。 ・途中でやめてしまったら、良い琴もできなかった。自分の納得いくまでこだわり続けたからこそ、できたことだ。 <p>-----</p> <p>苦しいことや大変なことがあっても頑張れるのは、どんな気持ちを持っているからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琴づくりが好きで、一つのことにこだわり続けてこれからもずっと続けていきたいという気持ち。 ・高い目標を持って、絶対に達成するぞという強い気持ち。 ・「これだけ頑張ったのだから自分ならできる」という自信や勇気を持って取組もうとする気持ち。 ・失敗しても、目標を達成するために大切なことだから、その失敗も無駄にはならないという気持ち。 ・努力をしているからこそその苦しさやしんどさがあり、その大変さに負けないという強い気持ち。 ・目標を達成しても、そこで満足せず、限界をつくらないうで、次の段階に向けて頑張ろうとする気持ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ○苦勞してつくった琴も、まだ不十分だったことの悔しさや哀しさを十分に感じさせることで、その後の考え方に つなげていく。 ○ワークシートに書かせることにより、藤田さんの気持ちをじっくりと考えさせる。 ○座席表で見取り、意図的指名に生かす。 ★より高い目標をもち、あきらめずに取り組むことの意義について考え、一つのことに理想をもって粘り強くやり遂げようとする ことについての考えを深めることができたか。 ○心情曲線で藤田さんの努力を振り返ることで、藤田さんが苦しいことや辛いことを何度も乗り越えてきたことを確認する。 ○グループトークで互いの考えを聞き合うことで、考えを深めさせていく。
<p>終末</p>	<p>4 藤田さんのビデオメッセージを流す。 5 自分の振り返りを交流する。</p>	<p>○今日の学習で感じたこと、考えたことを自分の生活をふり返って書きましょう。</p>	<p>○ワークシートを活用し、本時の道徳的価値について自分の考えをまとめさせる。</p>

9 板書計画



10 ワークシート

日本一の琴づくり ～こだわりの伝統工芸士 藤田房彦～ 氏名 _____

★伝統工芸士に任命されたという知らせを聞いて、胸に熱いものがこみあげてきた藤田さんは、どんなことを考えていたでしょう。

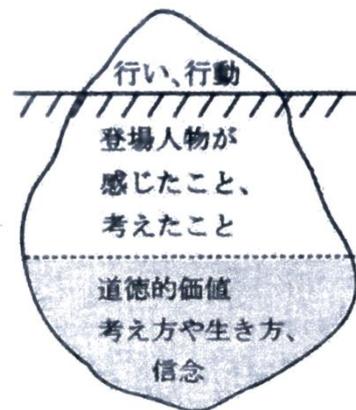
藤田さんの挿絵

自分の考えをもつことができた。
【 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】

今日の授業で新しい発見があった。
【 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】

友達の考えを聞いてなっとくすることがあった。
【 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 】

★この授業で感じたこと、新しく気付いたこと、発見したこと、納得したことなどを書きましょう。



(5) 年 (3) 組	
内容項目	A-希望と勇気, 努力と強い意志
教材名	「日本一の琴づくり ～こだわりの伝統工芸士 藤田房彦～」

【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

行い 行動	日本で初めての伝統工芸士に任命されたという知らせを聞いて、胸に熱いものがこみあげてきた。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で初めての伝統工芸士になれて嬉しい。 ・今まで努力してきたことが認められたんだ。 ・今までのことは無駄ではなかった。一人前になるためには必要なことだったのだ。 ・しんどいこともたくさんあったけど、諦めずに続けてよかった。 ・自分の納得いくまでこだわり続けたからこそ、できたことだ。
道徳的価値 考え方 生き方 信念	<ul style="list-style-type: none"> ・高い目標を持って、絶対に達成するぞという強い気持ち。 ・「これだけ頑張ったのだから自分ならできる」という自信や勇気を持って取組もうとする気持ち。 ・失敗しても、目標を達成するために大切なことだから、その失敗も無駄にはならないという気持ち。 ・努力をしているからこそその苦しさやしんどさがあり、その大変さに負けないという強い気持ち。 ・目標を達成しても、限界をつくらないで、次の段階に向けて頑張ろうとする気持ち。